

# 伝統深い祭り 地域にぎわう

## 横間虫追いまつり・田山統一祭典

無邪気に体に刻み込まれた素朴かつ勇壮な風習



関香里奈さん=田山小3年=



兄川先祓い



田山先祓い



年に一度、みんなでわいわいできる。  
踊った後のアイスが最高!  
来年もまた出るよ。

左から金澤大和君=田山小1年=、佐藤純也君、  
智也君=田山小2年=、安保拓夢君=安代中3年=



左：杉本海晟君=田山小2年=  
右：杉本隆晟君=田山小4年=



折壁・日泥  
先祓い



横間虫追いまつり

7月17日、市の指定無形民俗文化財「横間虫追いまつり」が横間地区で開催されました。虫追い祭りは、天明3年（1785年）から200年以上続く、五穀豊穣と悪虫退散を祈願する歴史ある伝統行事の一つ。祭りでは、旗を持った人を先頭に、悪い虫を追い払う鬼を模した男人形、女形の順に列をつくり、かねや太鼓を打ち鳴らしながら「五穀豊穣 稲虫はえ、豊作祭りや」と威勢のいい声で唱え、1時間程かけて集落内を練り歩きました。

祭りについて、集落の人口減少や高齢化などの影響で継続が危ぶまれている中、今回は岩手大学

の学生サポーター7人が参加。前日の準備から地区に入つて手伝い、当日本番まで若い力を加え続け、祭りを盛り上げました。また同日、田山の各集落で、市の指定無形民俗文化財「先祓い」の勇壮な舞いが披露されました。

祭典は、田山、折壁・日泥、兄川の3集落で開催。「みこしが通る道を舞い」という由来を持つ「先祓い」を、子どもらが、太鼓や笛の音に合わせて元気には、地域の方々をはじめ、遠方からもこの伝統芸能を見たいと多くの人々が集まり、踊り手たちを温かく見守っていました。



前日から地区入りし、人形を作成するためのわらをなう岩手大學生サポーターのみなさん



作成した人形と一緒に記念撮影



集落内を練り歩いた後、  
ねぎ味噌に舌鼓を打ちました